

ワークショップ

避難の呼びかけ体制づくり

広島県自主防災アドバイザー
柳 迫 長 三

避難先

◎ ○○地区振興センター、小学校など

避難情報の入手方法

◎GIG訓練で大竹市からの説明を思い起こしてください。

もう一度説明を聞きたい方はおられますか。

あなたの避難がみんなの命を救うカードを活用しましょう



あなたの避難が
みんなの命を救う！

呼びかけの担当者不在時の対応

- ◎会長が不在時：副会長 役員 班長 そのほかが代行する
- ◎副会長が不在時：会長 役員 班長 そのほかが代行する
- ◎役員が不在時：会長 副会長 班長 そのほかが代行する
- ◎班長が不在時：会長 副会長 役員 そのほかが代行する
- ◎その他【 】

呼びかけ方法

- ① 固定電話
- ② 携帯電話
- ③ 戸別訪問
- ④ メール
- ⑤ LINEなどのアプリ
- ⑥ 防災無線や戸別受信機
- ⑦ その他

呼びかけ内容（メッセージ）

- ① 「近所の方も避難している（避難するそうなので、避難しましょう）」
- ② 「一緒に車で避難しましょう」
- ③ 「あなたが避難することは、みんなの命を救うことになるので避難しましょう。」
- ④ その他

呼びかけ・避難の確認方法

- ① 最後に呼びかけられた人が、会長や役員に呼びかけ完了の報告をする。
- ② 住民に避難を呼びかけた人が、会長や役員に、呼びかけ完了の報告をする。
- ③ 呼びかけの順番と逆順に報告する。
- ④ 避難所で名簿と避難者を突合し、避難の完了を確認する
- ⑤ その他

他団体との連携

- ◎ 現在 連携している団体はないが、今後、消防団や民生委員、子ども会などと話し合い、災害時における情報共有や要配慮者の支援、平時の防災活動などについて、連携していく予定です

呼びかけ体制の決定と全世帯への周知

- ◎ 呼びかけ体制の方針を決定します
(本日の役員会の意見を白石1丁目
の方針として決定します。)
- ◎ 必要に応じて組織図や連絡網を修
正・更新しましょう
- ◎ 決定した呼びかけ体制を地域内に
周知します

- ◎ 防災マップの作成について
今後、土砂災害警戒区域等の災害想定区域や過去の被災箇所、避難所、避難ルートなどを示した防災マップを作成し、地区の状況を周知しましょう
- ◎ 防災訓練や情報伝達訓練で、住民への情報伝達の精度を確認しましょう